新潟県立教育センターでは、教育課題についての調査・研究を行っています

道徳教育

これまで県立教育センターでは、「イラストで見るシリーズ」として以下の5編を作成してきました。

- ・上手な褒め方、上手な叱り方
- ・発達障害のある児童生徒の困りごと支援例
- ・学習のUD化の工夫・手段
- ・生徒指導・教育相談の視点を生かした学習指導
- ・学校で役立つ上手な聞き方50のポイント

今年度は、これらに加え、道徳教育の調査・研究のために、道徳科の「イラストで見るシリーズ」を作成していくこととします。これは、学校からの「『上手な道徳科の授業づくり』編を加えて欲しい」という要望を受け、作成するものです。若い先生を中心に「道徳科の授業に自信がなく、どう進めていいかわからない」、「教科書を読み心情を理解させるだけで、その先どうしていいかわからない」などの声が多く聞かれます。このような先生方の一助となるよう、道徳科の授業における指導のポイントを分かりやすくイラストで説明します。作成後は、当センターの研修資料等に広く掲載しますので活用して下さい。

主体的・対話的で深い学び

県立教育センターでは、「主体的・対話的で深い学びを導く単元デザイン力の育成」をテーマとし、調査・研究を行っています。

単元の学習計画を立てる上で大切なのは、ねらいとしている学習活動を、単元のどの場面に、どのように設定するかということです。そこで、当センターでは、実現したい子どもの姿を表現したピクトグラムを貼りつけながら単元構想を練る「単元デザインシート」の活用を提案しています。

<主体的な学び>

<対話的な学び>

<深い学び>

「単元デザインシート」作成時に活用するピクトグラム

4 単元の指導計画と学びの実践ポイント(本時 12/14)

次(時数)	学習活動	主体的	対話的	深い学び
1(1)	「和の文化を受けついで」を読み、「和の文化」について調べ、報告するパンフレットを作るという単元の目的を確認する。	興味や関心を高める	実際のパンフレットを参照。	
2(2)	「和の文化を受けついで」を読んで筆者の説明の仕方を読み取る。	見通しを持つ		知識・技能を習得する
3(3)				
4(4)				
5(5)				
6(6)				
7(7)	「和の文化」について説明する観点に沿って調べ、情報を集める。			
8(8)				
9(9)				
10(10)	情報を整理して報告の文章を書く、パンフレットをデジタルデータで作る。			
11(11)				
12(12)				
13(13)				
3(14)	単元の学習を振り返り、資料を使った説明の仕方を確かめる。			
4(15)				
5(16)				

～単元デザインシートとピクトグラムの長所～
 ○単元全体を通しての学習活動が見通しやすい!
 ○学習活動に偏りがなく、バランスが取れているかが分かりやすい!

今後も、このような「単元デザインシート」の活用など、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の調査・研究を進めていきます。

特別支援教育

令和6年度 教育フォーラム
分科会発表プロジェクト

特別支援教育の充実を目指す 学校間連携

～高等学校と特別支援学校の取組から～

高等学校職員と特別支援学校職員による
合同SST授業検討の様子

本県では、中学校特別支援学級在籍生徒が、高等学校へ進学するケースが年々増加しており、高等学校においても特別な支援を要する生徒が在籍しています。生徒一人一人の自立と社会参加に向け、高等学校卒業後も社会から孤立せず自立した生活を送るためには、切れ目のない支援体制の構築と、高等学校段階での適切な指導・支援の充実が必要となっています。

特別支援教育班では、令和4年度から「高等学校における特別な支援を要する生徒の卒業後を見据えた指導・支援に関する調査・研究」を始めました。特別支援学校には、地域における特別支援教育を推進していくために、地域の学校を積極的に支援していくことが期待されています。そういった特別支援学校のセンター的機能を活用し、高等学校における生徒への指導・支援の在り方について調査・研究を継続してきました。

3年次にあたる本年は、同敷地内にある高等学校と特別支援学校の実践を通し、特別支援教育の充実を目指す学校間連携の在り方について、教育フォーラム分科会で提案します。

教育相談・生徒指導・健康教育

うまく集団になじめない、人間関係の悩みを抱えている等、児童生徒のストレスが大きくなると、自分や他者を攻撃する、動けなくなる等の行動が見られることがあります。これに有効な、社会性の発達を支援するプログラムとしてSEL（社会性と情動の学習）があります。

当センターでは、教員のSELに関する指導力の向上を図るため調査・研究を行っています。研修受講者が自校で実践したSELプログラムをもとに、その指導案等の開発を進めており、昨年度は「児童生徒理解に基づくSEL教育の実践2023」を作成しました。当センターのHP「調査・研究」よりダウンロードできますので、御活用ください。

<http://www.niigata-educ.nein.ed.jp/study19.html>

児童生徒理解に基づくSEL教育の実践2023

今年度開講の「感情の理解と社会性を育む生徒指導講座」では、SELプログラムの1つである「レジリエンス教育」（失敗や困難から立ち直る力を育てる教育）について学びます。今後も受講者の実践を支援し、教育現場でのSELプログラムの普及に努めています。

お知らせ

新潟県立教育センターで実施した研修内容をnoteで発信しています！

前号（第128号）でもお伝えしましたが、当センターで実施した研修内容を、新潟県立教育センターのnoteで紹介することとしました。「新潟県立教育センターだより」では、最新の教育に関わる諸課題や、教員研修に関する情報等を定期的に提供していくこととされていますので、県立教育センターのnoteをぜひご覧ください。

https://note.com/niigata_educ/

次号（第130号）：11月下旬発行予定 特集「教育フォーラムについて」